



「桑名市徘徊SOS緊急ネットワークシステム事業」

～申請による事前登録制～

桑名市役所
介護・高齢福祉課
中央地域包括支援センター
主事 内山 久嗣

【プログラム】

1. 桑名市の概要
2. 桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容
 - i) 概要
 - ii) 情報発信票
 - iii) 登録の流れ
3. 事業活動状況
4. 展望

<桑名市の状況>

(平成26年4月1日現在)

<人口>

総人口	142,665人
65歳以上	33,273人
75歳以上	15,235人
認知症高齢者数	3,177人

<世帯数>

総世帯数	56,136世帯
65歳以上高齢者のみ世帯	3,846世帯

<その他>

地域包括支援センター数	直営	1
	委託	4
認知症サポーター数		6,516人
キャラバンメイト数		113人

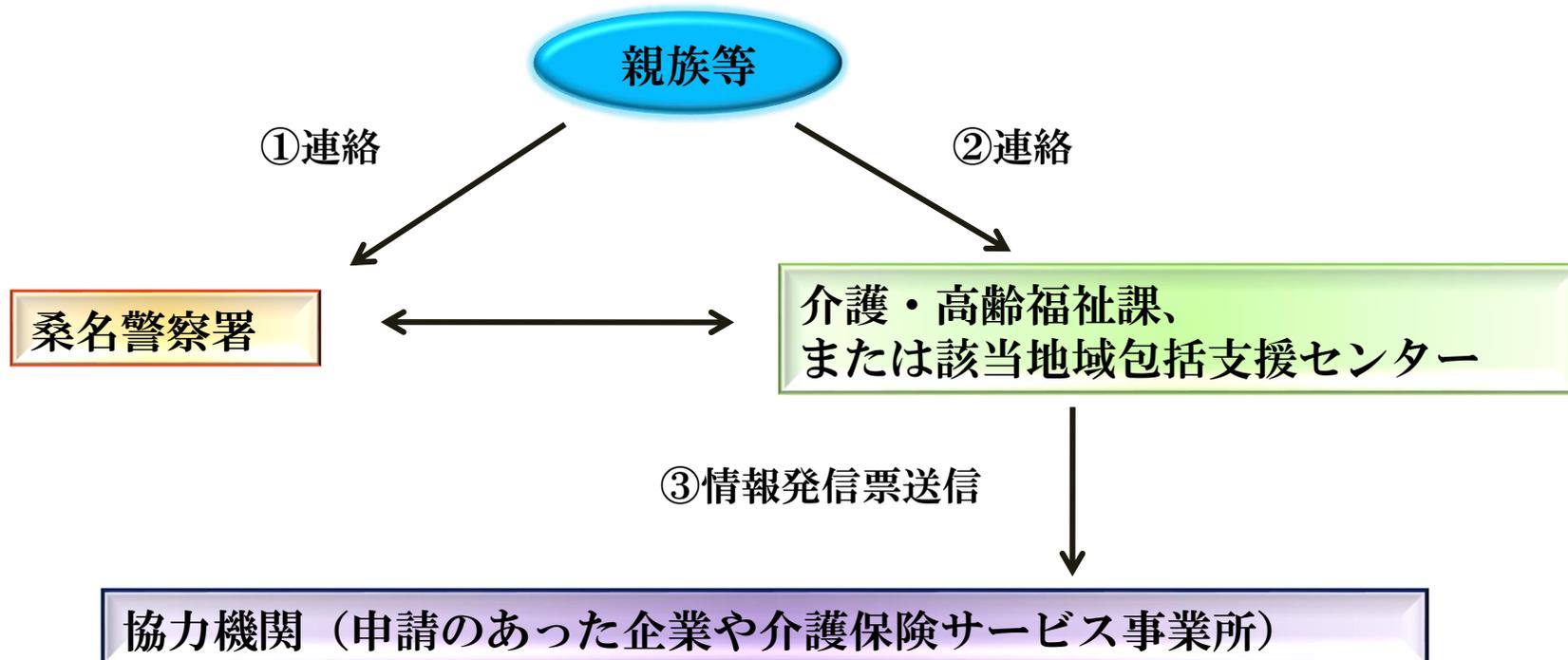
【プログラム】

1. 桑名市の概要
2. 桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容
 - i) 概要
 - ii) 情報発信票
 - iii) 登録の流れ
3. 事業活動状況
4. 展望

<桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容>

桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業導入経緯

認知症による場所の見当識障害等の為行方不明となるおそれのある65歳以上の在宅高齢者等を早期に発見して安全・安心の確保を図り、不慮の事故防止に努めることを目的として導入された。



- ・社員が外勤の際に周囲や店舗内を確認します。
- ・店舗等に行方不明者の写真等の情報が貼り出されます。

<桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容>

ネットワーク内における共有情報

行方不明となった際の状況	行方不明となった日時
	行方不明となった場所
行方不明者に関すること	氏名
	年齢
	性別
	身体的特徴
	行方不明時の服装等
発見時に関すること	発見時の連絡先
	発見時の際の連絡方法

運営上の工夫

登録の際には、親族等申請者の許可がある場合に限られるが、協力機関の社員に当該情報を周知させたり、店内に情報発信票を貼りだすこととしている。

<桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容>

情報発信票

次の高齢者の発見についての協力を 依頼 します

社員への周知：可・不可 店内貼りだし：可・不可

フリガナ		
氏名	(旧姓:) (性別: 男・女)	
生年月日	昭和 年 月 日	
年齢	歳	
身長	cm	
体重	kg	

特徴・服装等

不明時の状況 (日時、場所等)

発見時の状況 (日時、場所等)

「社員への周知」及び「店内貼りだし」は、可能かどうかどちらかに○をする。

申請者の写真
(上半身又は、全身が写っているもの)

背格好や普段好んできている服装、眼鏡等身につけている物等をできる限り記入してもらう。

連絡先 桑名市介護・高齢福祉課 0594-24-1489
中央地域包括支援センター 0594-24-5104
桑名警察署 生活安全課 0594-24-0110

<登録の流れ>

「申請書及び同意書」の受付（受付窓口は市役所及び各担当包括支援センター）



登録通知書、情報発信票等の作成

- ・申請者に発送する書類と警察に発送する書類を作成する。



発送を行う

- ・申請者

- ①登録通知書
- ②協力機関一覧表
- ③SOSネットワークの仕組み

- ・警察

- ①桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業登録者の情報提供について
- ②情報発信票
- ③申請書及び同意書
- ④登録者の写真

<登録の流れ>

桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業登録申請書及び同意書

年 月 日

あて先 桑名市長

(対象者の親族等)

住 所:

氏 名:



電話番号:

対象者からみた続柄:

文書は親族が直接提出する場合もあるが、ケアマネージャー等が親族に記入してもらい、提出する場合もある。

申請者の情報を記入。

桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業を利用したいので、下記のとおり申請します。なお、登録するにあたり、市が知り得た個人情報を桑名警察署に、緊急時には協力機関及び近隣市町に提供することに同意します。

		記		
対象者	氏名	(旧姓:) (男・女)	生年月日	明治 大正 昭和 年 月 日
	住所	桑名市 電話番号:		
身体的特徴	身長: cm	体重: kg		
	体格:	髪型:		
	その他特徴(眼鏡等):			
協力機関への情報提供	社員への通知: 可・不可		店内貼り出し: 可・不可	
主な持病等				
かかりつけ医療機関	病院名:			
	主治医:	電話番号:		
小学校区		地域包括支援センター		

登録者の身体的な特徴をできる限り細かく記入し、早期発見できるように協力してもらおう。

「社員への周知」及び「店内貼りだし」は、選択することができる。

登録者の担当地区の地域包括支援センターを記入。

※対象者の写真を添付してください。

【プログラム】

1. 桑名市の概要
2. 桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容
 - i) 概要
 - ii) 情報発信票
 - iii) 登録の流れ
3. **事業活動状況**
4. 展望

【プログラム】

1. 桑名市の概要
2. 桑名市徘徊SOS緊急ネットワーク事業内容
 - i) 概要
 - ii) 情報発信票
 - iii) 登録の流れ
3. 事業活動状況
4. 展望

<展望>

- 模擬訓練

年間件数が少ないため、実際に徘徊事例が起きたときに速やかな対応ができないおそれがある。

- 広域ネットワーク

徘徊事例が発生したときに近隣の市町村と迅速な情報提供及び、適切な対応（個人情報の取扱い等）ができるようにしたい。

- GPS等による位置情報確認システムの導入

有用性が増していけば、導入を検討する。

<主なQ & A>

- ・ 土日及び夜間における対応について

基本的に、休日や夜間は警察に連絡してもらおう。
ただし、対応が可能な時には、担当地域包括支援センターの裁量に委ねる。

- ・ 休日及び夜間等、中央地域包括支援センターが不在の場合当該エリアで行方不明者が出たときはどのような対応となるのか

当該エリアの地域包括支援センターの裁量で決める。

- ・ 連絡先はどのようなところに連絡するのか。

当該エリアの地域包括支援センターが可能なところへ連絡する。

- ・ どこからいなくなったのか、地区名や町名等をさがしています